

第2⑩熊本大学eポートフォリオ国際セミナー

Designing Courses based on SECI model with Mahara as an e-Portfolio



たまかえる

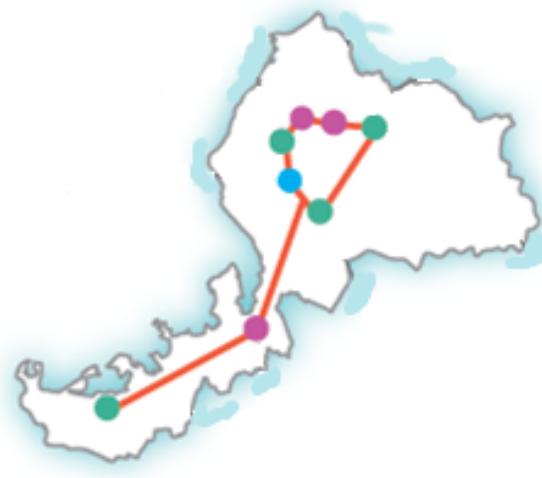
Yoichi Tanaka@Jin-ai Women's College
you@jin-ai.ac.jp

Toshifumi Sawazaki@Jin-ai Women's College

Osamu Yamakawa@Fukui Prefectural University

F-LECCS

- Fukui LEarning Community Consortium
- Supported by Japanese government
- 6 higher educational institutions in Fukui prefecture collaborate to build a virtual university environment on computer network.



ICT systems of F-LECCS

- LMS(Moodle) : Course support system
- e-Portfolio(Mahara) : Learner support system
- SNS(OpenSNP) : Community support system



Goal of F-LECCS

- Construction of continuous university collaboration base
(human network and ICT system)
- Activation of collaboration between universities and local community by the learning community
- Improvement of university education in collaboration among universities and promotion of reform
(making proposals on the position of next-generation university)

Activities of F-LECCS

- Construction and run of intercollegiate ICT platform
- Formation of intercollegiate learning communities and regional communities
(About 382 communities in F-LECCS SNS)
- Mutual training-based Faculty Development by the learning communities
- Intercollegiate collaboration by students
- Intercollegiate workshops and symposiums by Faculties
- Operation and analysis of questionnaires for IR
(Institutional Research)
- Analysis of the log data stored in the ICT platform for LA (Learning Analytics)

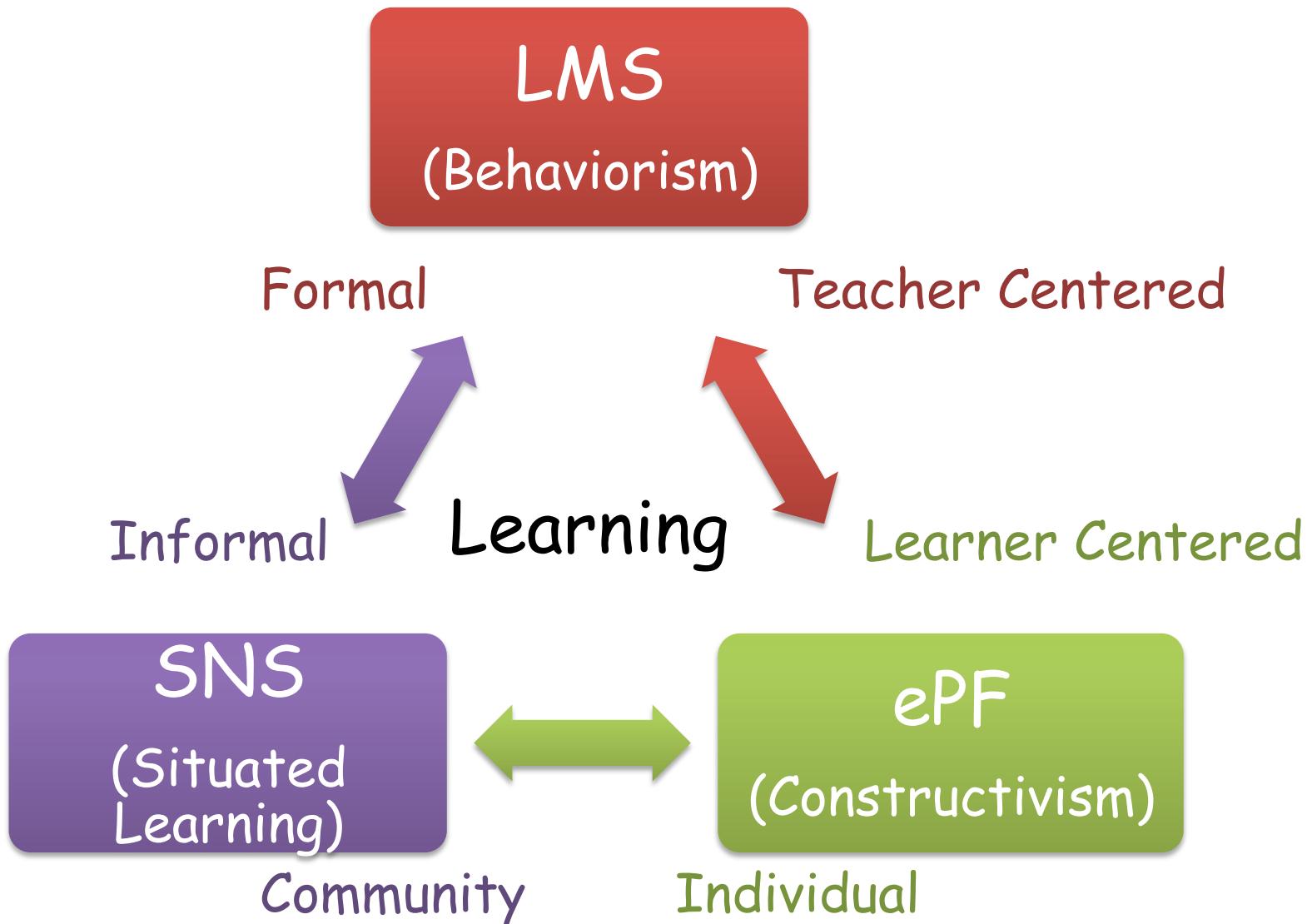
Mahara as an e-Portfolio system

Mahara is a fully featured web application to build your electronic portfolio. You can create journals, upload files, embed social media resources from the web and collaborate with other users in groups.

(<http://mahara.org>)



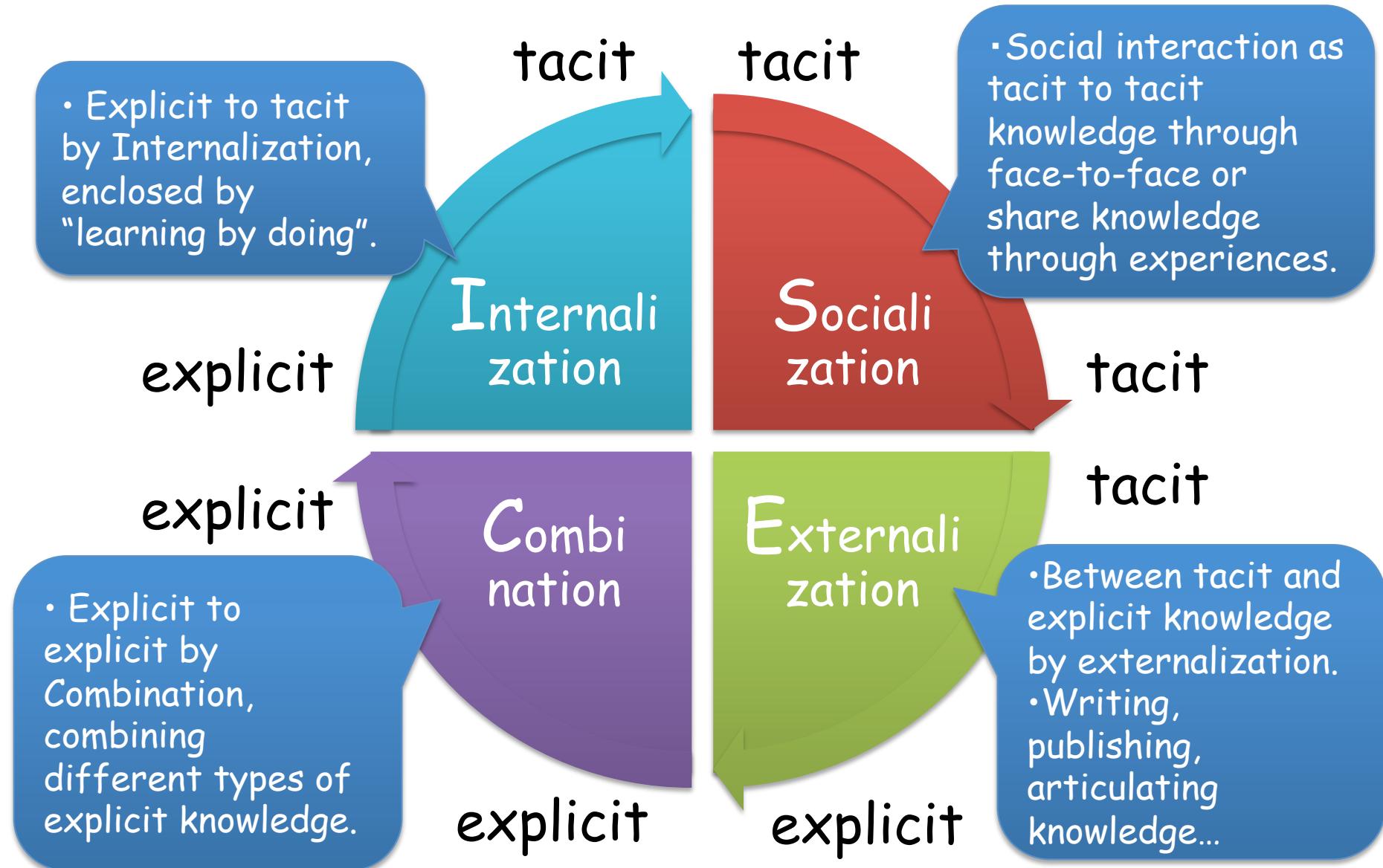
Learning Principles of ICT systems



What is "SECI model"? How we design our courses.

We would like to explain our teaching process and theory based on SECI model, which is a knowledge-creating model within organizations by Ikujiro Nonaka. We designed some courses based on SECI, which visualizes knowledge creating process in group activities with support of Mahara as an e-portfolio and moodle in our classrooms.

SECI model



e.g. Course01: Japanese Expression 1

Critical Thinking

tacit

Students present their ideas.

- Based on their former discussion, they present their ideas.



Internalization

explicit

Students discuss the same topic and exchange their ideas.

- Each student summarizes group's opinion individually
- Each student types their discussion summary in their page(view) on Mahara

Combination



explicit



Socialization

tacit

Discussion themes are given from a instructor.

- Discussion based on their ideas
- Brainstorming

Externalization



Students visualize their ideas by writing, drawing, and storing data. As Individual assignments.

- Each student types their own ideas on their pages/views) on Mahara.

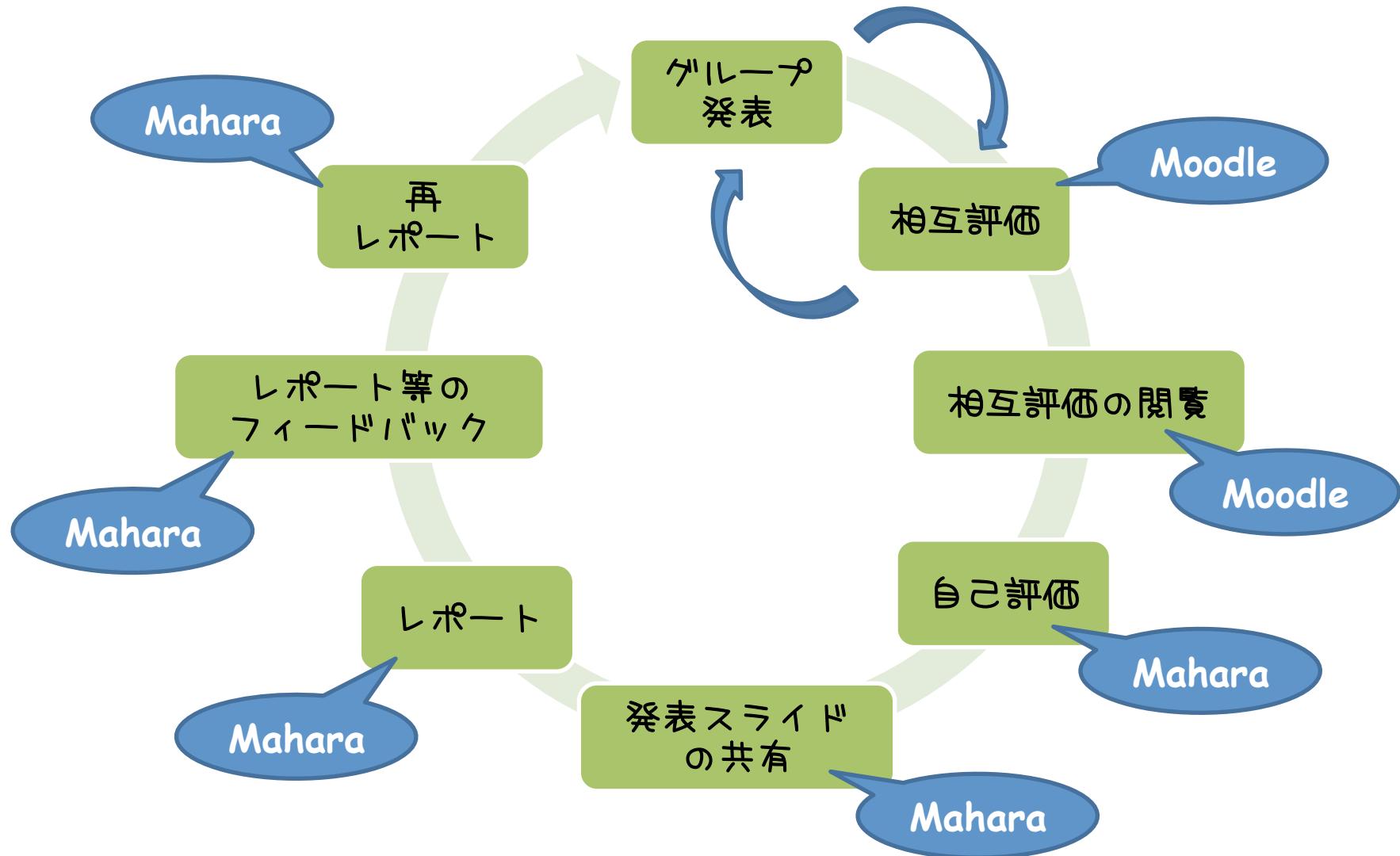
e.g. Course02:
Educational Methods and Techniques

- ⊕中洋一 @仁愛女子短期大学
- ・幼児教育学科 1年136名 (3クラス)
- ・1年後期、選択、幼稚園免許必修、講義科
⊕
- ・Moodle : 授業ポータルサイト
⊕の学習目標、授業内容、参考資料等
- ・Mahara : 振り返リポート、課題
受講者間で閲覧可能

授業内容例：グレープ発表

- ・幼稚園での特色ある教育がテーマ
- ・1クラスを8グレープにわける
- ・各グレープが1つの幼稚園の教諭役
- ・グレープテーマはがチャガチャで決定
シュータイナー、モンテッソーリ、音楽、英語、
自然体験、パソコン、放送番組、玩具
- ・保護者説明会形式で7分間発表、質疑応答

グループ発表の授業デザイン



グループ発表の相互評価：Moodle

トピックアウトライン

お知らせ

振り返りノート

Mahara

1 【本日の学習目標】
いろいろな人がいることを理解する、観察する、一人・二人で意見交換する

- ・ガイダンス
- ・マインドマップ
- 自己紹介
- 良い授業、悪い授業
- ・"わかりやすさ"とは
 - 子ども・障がい者・みんなにとって
 - 障がい理解
- ・フレックスLMS、SNS、eポートフォリオ

2 【本日の学習目標】
障がいを理解する、e-Learningを使ってみる

- ・"わかりやすさ"とは
 - 子ども・障がい者・みんなにとって
 - 障がい理解
 - シンボル

7 【本日の学習目標】
他者に見やすい・読みやすいスライド、わかりやすい発表について考えよう。

- ・グループ発表準備
 - 別ファイルのスライドを挿入
- ・グループ発表・相互評価(1)

8 【本日の学習目標】
良いプレゼンテーション、良い保育・教育とは何かを考えよう。

- ・グループ発表・相互評価(2)

?

相互評価(モンテッソーリグループ)
相互評価(英語グループ)
相互評価(放送番組グループ)
相互評価(自然体験グループ)
相互評価(音楽グループ)
相互評価(パソコングループ)
相互評価(シュタイナーグрупп)
相互評価(玩具グループ)

他グループのスライド共有：Mahara

課題01「あなたが考える良い教育(保育)」

1. 自分が発表したテーマ
2. 自分たちの発表に対する相互評価を読んだ上で、自己評価を書いてください。
3. 自分たちが調べた教育及び他のグループが発表した教育について考察し、あなたが考える良い教育(保育)をまとめてください。

グループ発表(Bクラス)

| | |
|---|-------------------------------|
|  | Bシャティナー.pptx |
| | 439.7KB 詳細 |
|  | BJパソコン.pptx |
| | 350.1KB 詳細 |
|  | Bモンテッソーリ.pptx |
| | 1.2MB 詳細 |
|  | B英語.pptx |
| | 2.1MB 詳細 |
|  | B音楽.pptx |
| | 1MB 詳細 |
|  | B玩具.pptx |
| | 1.6MB 詳細 |
|  | B自然体験.pptx |
| | 5.2MB 詳細 |
|  | B放送番組.pptx |
| | 369.2KB 詳細 |

eポートフォリオ・ページ例

振り返りノート(教育の方法と技術)

01月26日 15回目

*自分の考える幼児教育:友達の課題の感想を読んで、私と同じ考えの人がありました。それは、「幼児教育は、保育者が活動を無理やり子どもにやらせるのではなく、保育者が子どもたちにあった環境を用意し、それを子どもたちが、楽しんで活動することが大切。」だということです。子どもたちにとって、遊ぶことが学びにつながります。楽しくなからず、その遊びには興味を示さないと思うので、子どもたちが楽しんでできる活動を考えていかなければいけないと思いました。また、いくら保育者が用意した活動が、子どもたちのためになることでも、その活動を子どもたちが、楽しんで活動しないで、やらされている活動になっているという状態だったら、その活動は、子どもの学びにつながっていないということで、子どもたちのためにはなっていないということになります。だから、幼児教育をする立場として、まずは子どもに楽しんで活動してもらうことを第一に考えるべきだと思います。(ほかに、「幼児教育によく、人の関わりが大切」だといったことや、「たくさんのことを学ばせるのは、子どもたちもバニックになってしまうのではないか」といったことが、友達の感想の中にあって、なるほどな。と思いました。幼児教育に何が正しくて何が正しくないか。なんてないと思います。どんな子どもに育ってほしいかは、いろんな考え方のお母さんや保育者がいるとおもうから、自分の考えにあった職場を選びたいなと思いました。また、いろんな考えを聞くことも大切になってくると思いました。

教育の方法と技術の授業をうけて、これから保育者としてやっていくうえでどれも取り入れていけることだと思いました。パソコンが使えるのは当たり前の時代なので、どんどん学んだことを活用していきたいです。

課題(教育の方法と技術)

課題03:保育教材

(1)保育教材のねらい:ゲーム感覚で普段の生活でよく使う挨拶の言葉を理解する

(2)工夫したところ:工夫したところは、子どもたちに興味をもってもらうように、たくさんの色をつかってカラフルにしたところです。色が少ないと子どもたちはスライドに飽きてしまうと思うし、なかなか集中してスライドを見てくれないと思ったのでカラフルにしました。また、いくらたくさんの色をつかっても暗い色ばかりだと、興味を示してくれないとおもったので、暖色カラーの色でスライドをつくってきました。また、画像を使ったのもポイントですが、図形を使って動物のイラスト?を自分でつくったところも工夫した点の一つです。それから、「ありがとうございます」「ごめんなさい」「いただきます」などの普段の生活でよく使う言葉をクイズにした理由は、幼児のころから、そのような言葉を自然と言えるような子どもにそぞろ(まい)と思ったからです。5歳児を対象に作ったクイズですが、これらの言葉は、小さいときから生活をしていくうえでつかっていると思うので、文字が読めない子どもでも、問題を読んであげればクイズに参加できるようになっています。また、あたりのページでも、(ほかの)ページでも、一言クイズをしている子どもに対して話しかけるようなコメントをしている点も工夫しました。クイズをしていて、一方通行なのは、悲しいので、コメントでは話しかけているような言葉を入れることをこころがけました。最後のクイズクリアのページは、文字が動くようになっています。😊

(3)保育教材を用いた設定保育:○「こっちからひひいちゅうがやってきて」の手遊びをする。○作・絵:五味太郎さんの絵本「挨拶絵本」を見る。○保育教材を使って言葉クイズをする。○(ほかに、どんな挨拶

保育教材

 kyozai-jk...0.3.pptx
331.3KB || 詳細

CM制作

cm-jk21110.wmv



eポートフォリオページ フィードバック例

フィードバック



CMや保育教材が、リアリティで上手にできているなあと思いました。
振り返りや課題の文章も上手くまとまっていて、さすがです。

2013年01月16日 13:33



c mの写真の撮りかたが上手いし見てて楽しかった★♪
本はあまり読まないけど読みたくなるc mでした！
教材もこっていていい！
文章がうまくまとまっていてすごいと思った。

2013年01月16日 13:51



CMも教材もすごく凝っていてすごいなと思いました
CMすごくかっこよかったです

2013年01月16日 13:52



写真がきれいで、音楽も映像に合っていてよかったです。

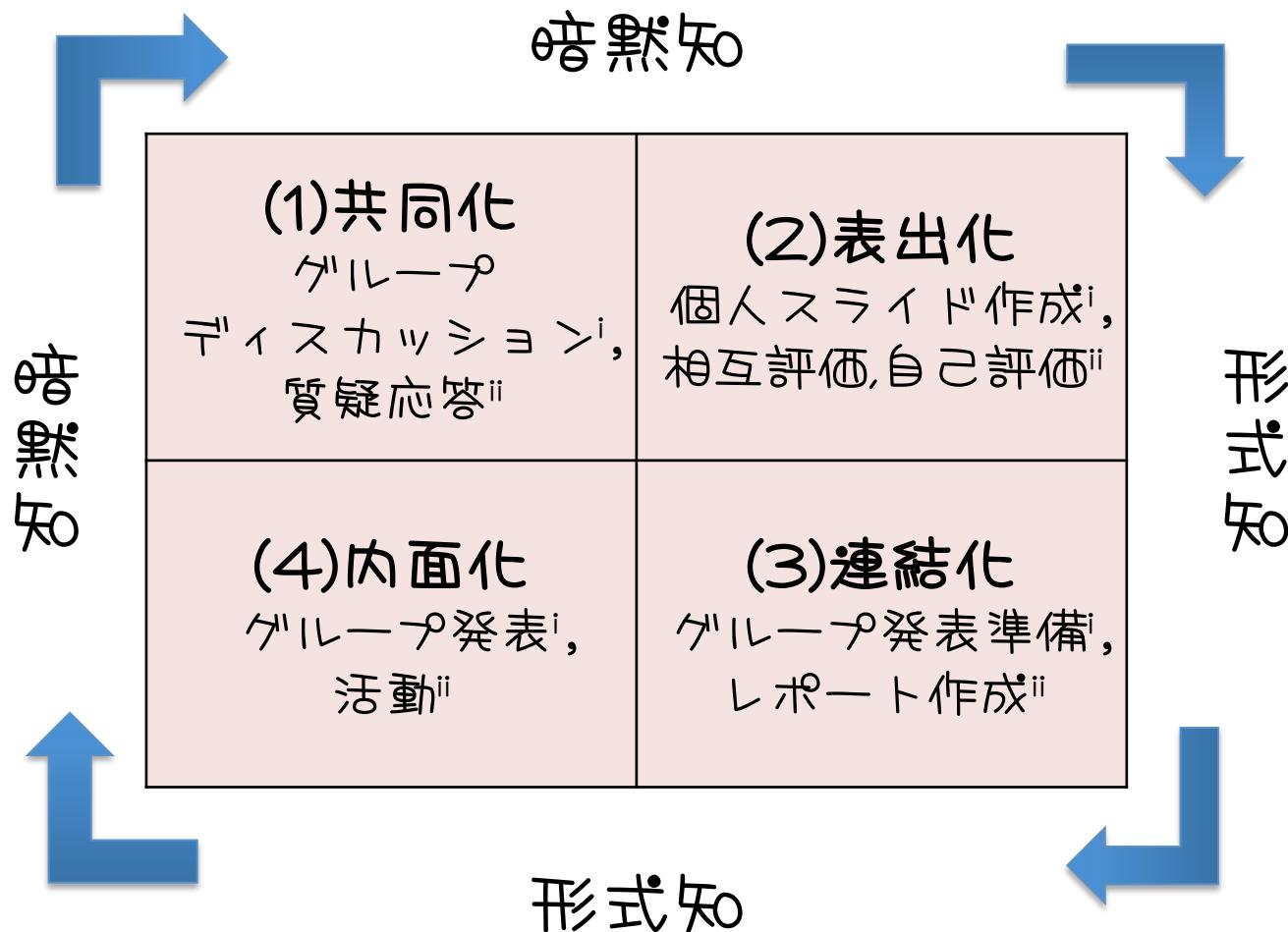
2013年01月16日 13:53



CMを見ていると、本を読みたい！という気持ちになりました。
写真もディズニーのが使われていて、あやねちゃんだな～！って
思いました。
クイズは正解すると☆がもらえるようになっていて、とても工夫してあるな～
と感じました。

2013年01月16日 13:59

SECIモデルの適用例2

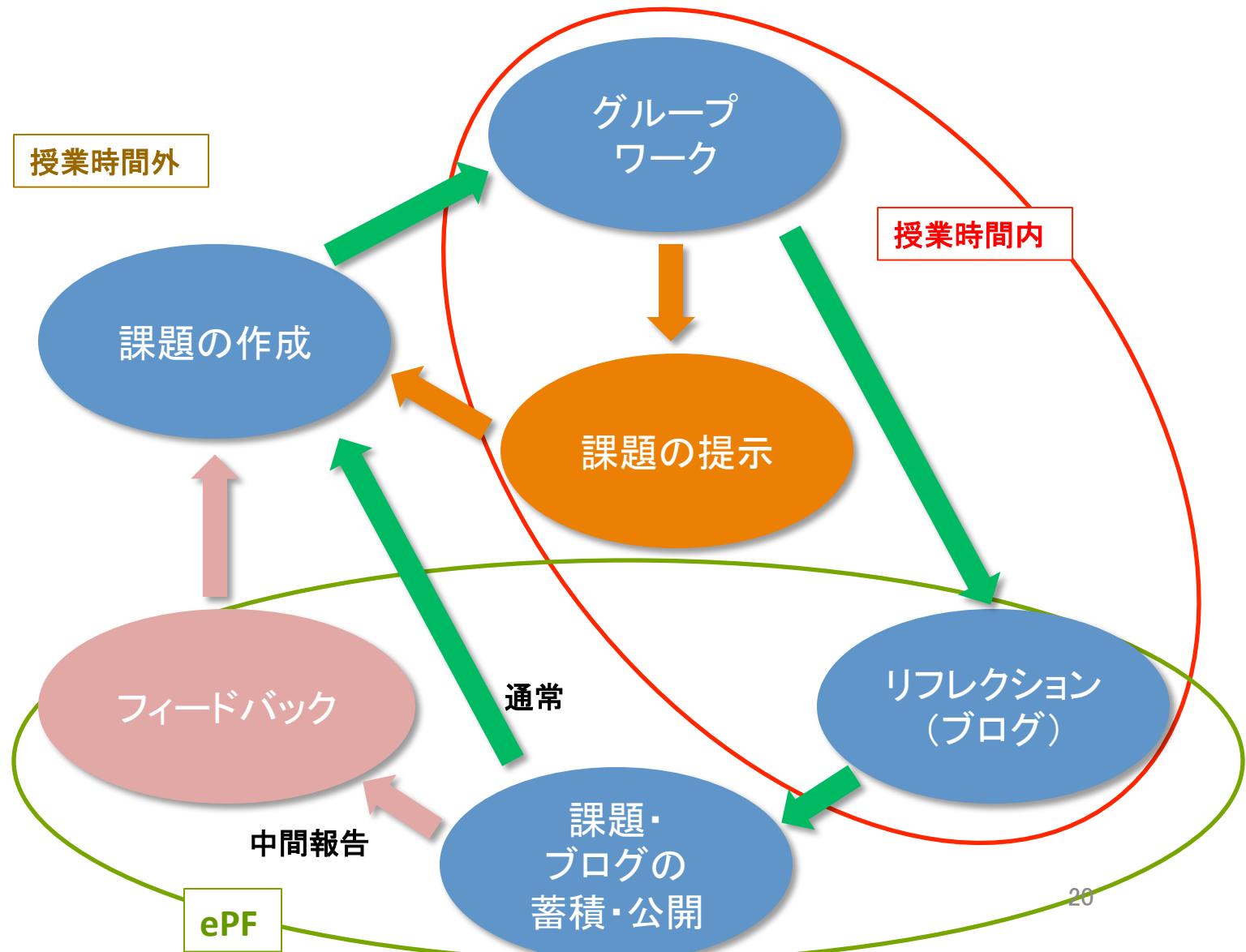


e.g. Course03:

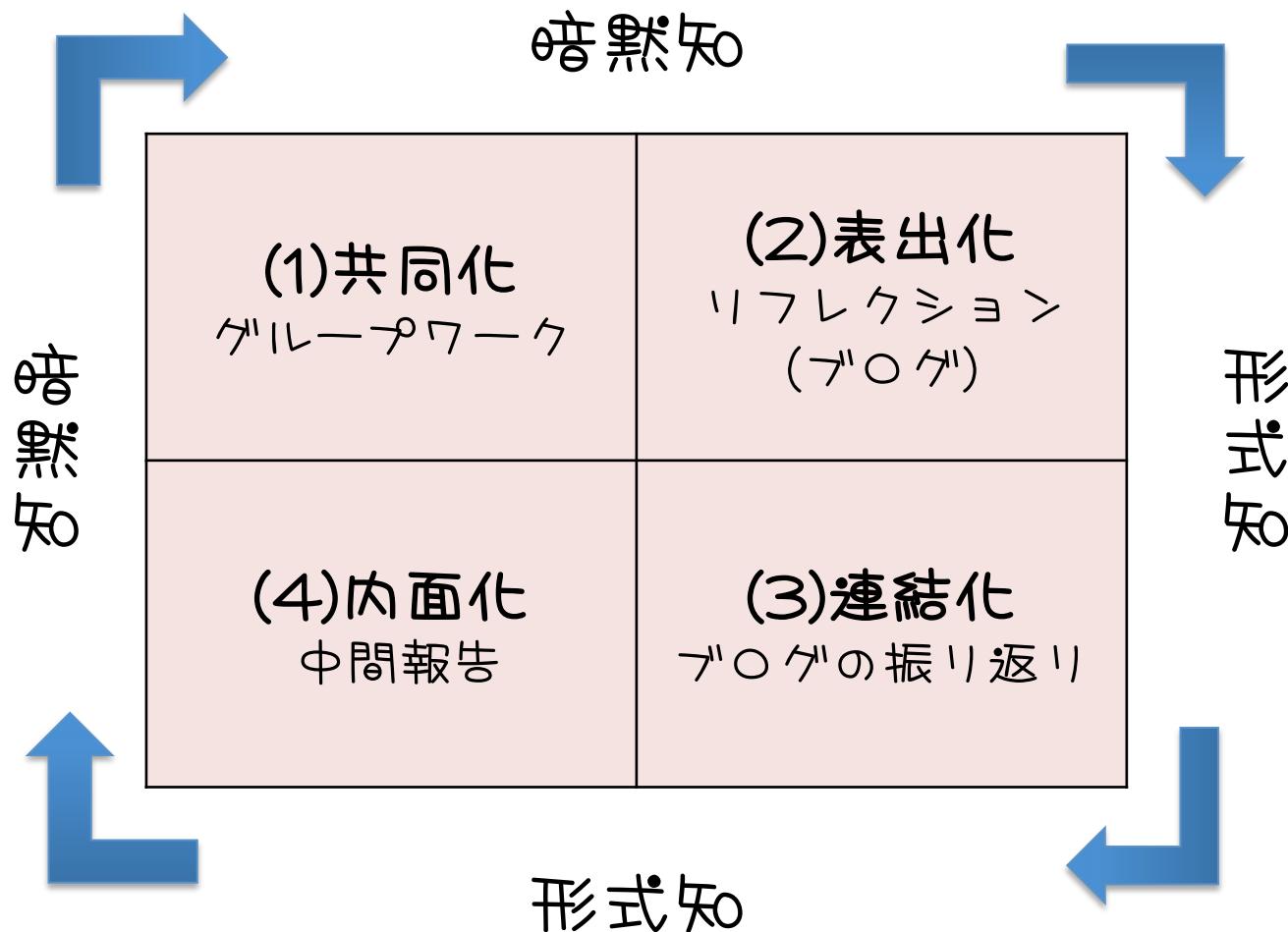
初年次教育少人数ゼミ

- 山川修@福井県立大学
- 1年前期必修
- 1クラス：15名まで
- テーマ：教員ごと（調査、分析、発表等）
- 山川担当「テレビを読もう」
- テレビCMを題材→×ディアリテラシー
- 1グループ：3名 × 5グループ

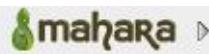
少人数セミの授業内・授業外での流れ



SECIモデルの適用例3



eポートフォリオ・ページ例



◀戻る

の導入ゼミのページ by [redacted]

の導入ゼミのページ

課題ワークシート

メディア自分史.doc
31.5KB || 詳細

media-log.doc
36.5KB || 詳細

情報操作のビデオを見て.docx
13.5KB || 詳細

中間報告1.docx
14KB || 詳細

中間報告2.docx
11.9KB || 詳細

NumberOfCM.doc
33KB || 詳細

CM2.doc
36.5KB || 詳細

CM3.doc
36KB || 詳細

TargetAudience.1.doc
36KB || 詳細

CM1.1.doc
36KB || 詳細

Value.doc
33KB || 詳細

最終報告.docx
14.4KB || 詳細

導入ゼミ(山川)

導入ゼミ(山川)

7月20日のゼミ

この日は最後のゼミということで、みんながそれぞれ「このゼミを通して学んだこと」などの発表でした。

今までたくさん人前で発表をしてきましたが、やはり一人でとなると緊張しました。

このゼミでは、私は「価値観」ということを考えるきっかけになりました。

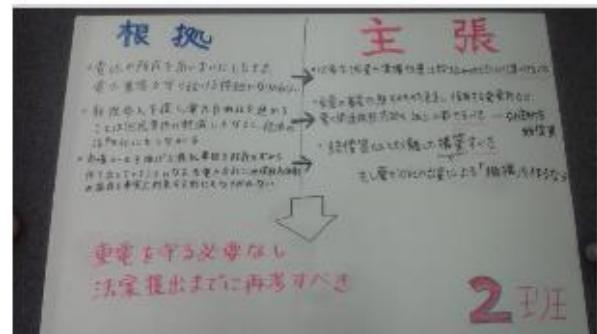
自分のことを振り返ったり、考えたりすることが苦手だったので避けてきたのですが、このゼミをきっかけに自分について考える機会が多くなった気がします。

あと、15秒や30秒の短いCMの中で商品の良さを宣伝し、さらに買ってもらうというところまで持っていくのは、本当にすごいことだなと思いました。

普段何気なく見ているCMからでも「価値観」を変えてしまうことがあるのだから、この世の中には自分の「価値観」に影響を与えるものはたくさんあるのだろうな…と思いました。

そう考えると恐ろしいなと思います。

社説分析 2班



フィードバック

ePFのフィードバック画面

①中間報告1を読んで

メディアとの関係を見つめ直し始めた所が素晴らしいです。このゼミの趣旨は、TVを見ないようにするというものではないですよ。沢山見て、テレビ番組を読んでみてください。



山川 修 (yamakawa@fpu.ac.jp) | 2011年 06月 08日 11:08

②中間報告1を読んで

僕も知らないうちにテレビから影響を受けていると知り、とても怖いとおもいました。

人に自分の意見を言うことが前よりできるようになったことは、すごいと思います！



[redacted]@s.fpu.ac.jp | 2011年 06月 22日 10:56

このゼミを通してメディアについての考え方方が変わったのがよくわかりました(^_^)

私もメディアについての色々な考え方見直したいなあと思います！！



[redacted]@s.fpu.ac.jp | 2011年 06月 22日 10:57

③フィードバックをしてもらって…

ほかの人に自分の書いたものを読んでもらって、しかもその感想を聞くのはすごく苦手で、何を言われるんだろう…と不安でしたが、聞いてみると「こう思われるのか」とか気づくことができたし、見てもらうものだなと思いました。



[redacted]@s.fpu.ac.jp | 2011年 06月 22日 11:15

④中間報告2を読んで・

CMを注意して見ると、確かに普段気づかないところに気が付けたと思います。でも同じように、ターゲットなどを考えるとなると難しいと思いました。

CMを見る際に、「調べる」というのは良いと思いました。



[redacted]@s.fpu.ac.jp | 2011年 07月 06日 23:18

⑤中間報告2を読んで

老若男女ではなく、ターゲットを絞ることも必要だ、というところに共感しました。

そっちのほうが企業にとって情報発信しやすいかもしませんね。



[redacted]@s.fpu.ac.jp | 2011年 07月 12日 22:31

⑥中間報告2を読んで

今の自分に引きつけて感想を書いていることは大変良かったです。実は、CM分析でも、自分の価値観との相互作用から、自分自身とCMとの関係を探って欲しかったのですが、ちょっと難しかったかもしれません。



山川 修 (yamakawa@fpu.ac.jp) | 2011年 07月 19日 16:35

e.g. Course04: 情報処理E(DTP演習)

- 山川修@福井県立大学
- PhotoshopとIllustratorの使い方を修得
- 受講者：29名

作成ビューの例

編集前



編集後



編集の説明

壁と化石を同化させようと思い、修復ブラシツールで化石の先を壁とくっつけるように編集。

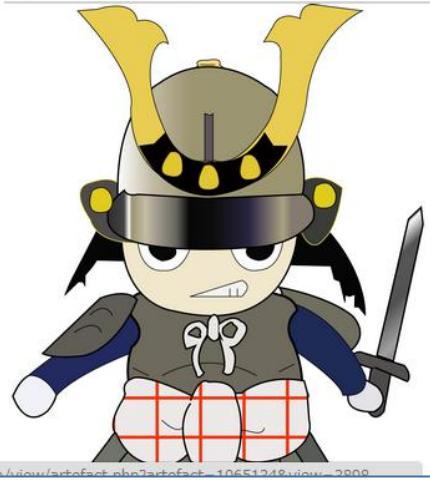
多い焼きツールのハイライトで極端な明を入れる。

その後指先ツールで強引に絵調子にする。

TIME 課題



イラストレーター課題



参考画像



TIME 編集概要

まず背景のホワイトハウスを貼り、テキストレイヤーでTIMEの文字を書く。ダースベイダーの画像をその上に貼り(別レイヤーとして)、イメージの色調補正にある白黒のツールを使ってダースベイダーとホワイトハウスを白黒にする。

投げ縄ツールを使いダースベイダーをマスクで覆い余計な部分(余計な部分があったんです)を消しゴムで消す。そして長方形選択ツールをつかい枠外の赤くなる部分以外をマスクとして覆って、枠を赤く塗った。

TIMEのサンプルに枠の内側に白いラインがあったのでやろうと思ったが、どうせわざわざ分からず 長方形ツールでそれっぽくやっ

フィードバックの例

フィードバック

写真全体にまんべんなく修正がしてあって独創的でよかったです

まさに芸術



山川 修 (@s.fpu.ac.jp) | 2011年 10月 31日 09:08

編集前の画像からは想像もつかないほどに変化していて、しかもそれが芸術的な方向なのでよかったです。



山川 修 (@s.fpu.ac.jp) | 2011年 11月 01日 15:19

写真を加工したと思えないほどの絵調です！！



山川 修 (@s.fpu.ac.jp) | 2011年 11月 02日 12:33

絵画みたいですごいです！



山川 修 (@s.fpu.ac.jp) | 2011年 11月 04日 16:11

迫力のあるアニメ画像のようになっていて面白いと思いました。



山川 修 (@s.fpu.ac.jp) | 2011年 11月 06日 17:32

本物の絵みたいになっててすごいと思いました。



山川 修 (@s.fpu.ac.jp) | 2011年 11月 07日 08:49

TIMEの表紙について；文字の配置が工夫されていてかっこいいです。目をひく表紙になっていると思います。



山川 修 (@s.fpu.ac.jp) | 2011年 11月 27日 22:52

TIMEの表紙について；見本のような感じに仕上がってて、読み手に興味を与えるような表紙になっていていいと思った。



山川 修 (@s.fpu.ac.jp) | 2011年 11月 28日 09:47

イラストについて；グラデーションが光沢っぽく仕上がってているし、様々なツールを上手に使いになせていていいと思った。



山川 修 (@s.fpu.ac.jp) | 2012年 01月 22日 15:48

兜からここまで書いてしまうとはすごいですね。



山川 修 (yamakawa@fpu.ac.jp) | 2012年 01月 23日 09:19

アンケート結果

0% 20% 40% 60% 80% 100%

Q(1): eポートフォリオで他の学生から自分の作品へのコメントが
もらえたのはいかがでしたか。

(1)

65%

35%

Q(2): eポートフォリオで他の学生の作品を見ることができたのは
どうでしたか。

(2)

30%

70%

■ 良くなかった ■ あまり良くなかった ■ まあまあ良かった ■ 良かった

Our Findings 1

Mahara plays active roles in SECI model, especially those points below;

- To externalize learners' ideas and thoughts.
- To understand other's ideas
- To deepen their knowledge by combining other's ideas and thoughts.

Therefore, conversion from tacit knowledge to explicit knowledge is easily available with help of learning communities and Mahara.

Our Findings 2

Mahara promotes students' autonomy to learn more.

- Students can recognize effectiveness and efficiency by recording their study logs on Mahara.
- Creating environment that students recognize importance of reflection, by designing the course students want to go back to what they did.

Our Findings 3

To promote students' autonomy.

- Don't control too much,
but don't leave them alone.
- Moodle gives students moderate control, and
Mahara give students their freedom to learn!
- In a group work activity, we have to design group
work as a learning community, which can be
evaluated objectively.
- Once students implicit knowledge is externalized
by using Mahara's pages, easier and better to
evaluate them.

チラシを持って帰りましょう！

- 第4〇Maharaオープンフォーラム
MOF2013 Tokyoの告知
9月14^日（土）～15^日（日）
@東京学芸大学
- Maharaユーザーコミュニティ

⊕中洋一@仁愛女子短大
you@jin-ai.ac.jp

第4回Maharaオープンフォーラム MOF2013 Tokyo

- 2013年9月14日（土）～15日（日）
- 東京学芸大学
- 一般発表募集
- 発表スケジュール
 - ✓ 7月初～末：論文発表申込
(タイトルと概要)
 - ✓ 8月初：事前参加申込開始
 - ✓ 8月20日：論文投稿締切